

令和2年度事業計画

1. 基本方針（理事長：窪田 茂）

昨年からスタートした日本空間デザイン賞の第二回目が開催されます。第一回目は無事成功を収めましたので、この先も成功させて、日本の空間デザインの歴史や文化を繋いでいきたいと考えております。また今年は北陸支部も立ち上がりますので、軌道に乗るように、皆で盛り上げていきたいと思っております。

日々の様々な活動に加えて、IDMの開催（予定）、East Gathering（予定）の開催などもありますので、お忙しいと思いますが、皆様のご理解とご協力をお願いします。

昨年同様、メンバーの増強と若返り、アワードの活用、メンバー交流の活性化をさらに進めます。

また、国内のデザイン団体との関係を構築し、海外との交流も活性化させて参ります。

また各委員会の今後の活動をよりスムーズにする為に、以前にも提案したように、若手会員を積極的に勧誘して頂き、活動にどう参加してもらうかを本気で考えて頂きたいと思っております。

最後に、JCDは2021年に60周年を迎えます。これを記念する事業をやりたいと思っており、今年はその活動方針を定めていきたいと思っております。

2. 主要事業計画の概要

(1) 事業部（部長：永井資久）

(委員長会議議長：大滝道晴)

1. <デザイン賞委員会>

第二回、日本空間デザイン賞の集計部会のJCD側の部会リーダーとして継続参加。

*JCD側の体制を含め、調整会議の必要性。

2. <Soda委員会>

従来通り講師として参加予定。

3. <賛助委員会>

定例賛助委員会への参加

第14回「プロダクト オブ ザ イヤー」結果を受け、表彰等の準備、反省会の実施、Web投票、新組織の体制検討等。

*賛助委員会としての「プロダクト オブ ザ イヤー」以外の新しい活動の検討

(賛助企業のためになる活動の検討準備)

*全国賛助企業のスタンスの明確化(支部賛助企業、関東支部系全国企業)

4. 委員長会議議長として

各委員会に組織メンバーの検討等の促し。

*各委員会は、役員改選年度(2年に一度)には、変更有無にかかわらず検討の義務化。

① デザイン賞委員会 (委員長：笠原英里子)

■日本空間デザイン賞 2020

本年度より新組織体制にて運営部会、集計部会、制作部会、広報部会に分かれ業務を推進する。各部会で決定した事項をアワード実行委員会ですとめ調整を行う。さらに2ヶ月に一度のペースでJCD+DSA 三役会議を開催し、決定事項の確認と承認を行ない最終決議とする方法をとる。

○2019年12月19日令和2年度合同デザイン賞委員会キックオフミーティング

○2020年4月1日～5月16日公募期間

○6月1日～9日ネット1次審査

(審査員Aグループ30名、Bグループ30名、Cグループ30名、合計90名)

○6月15日一次審査後事前チェック@JDN

○6月18日一次審査調整会議@丹青社

Long List (入選作品) を決定。

○6月22日～30日ネット2次審査

(審査員Aグループ8名、Bグループ10名、Cグループ10名、理事6名、合計34名)

○7月初め二次審査事前チェック@JDN

○7月4日二次審査調整会議@丹青社

Short List (BEST110) を決定。

○7月上旬～2週間 BEST110 受賞者のA2ボード2枚製作期間

○8月1日(土) 公開3次審査/ファイナル審査

3次審査員11名(豊口協、渡邊康太郎、山本尚美、小坂竜、中村拓志、野老朝雄、永山祐子、五十嵐太郎、木田隆子、北川一成、井上成各氏) 東京デザインセンターにて11ジャンルにそれぞれ金賞、銀賞、銅賞を選出(33作品)

同日、金賞11作品から大賞1～3作品を選出。ただし発表は贈賞式において行う。

○9月25日 贈賞式&受賞パーティー 明治記念館において

○受賞者は年鑑に掲載予定

○年内に2週間 KUKAN DESIGN AWARD 20209 展を開催

GOOD DESIGN MARUNOUCHI において トークイベント2回、懇親会2回

② Soda 委員会 (委員長：新藤 力)

平成30年度につづき昨年も行政の積極的な取り組みによって大分県杵築市でのワークショップを実施できたこと、東北支部のパワフルなアプローチにより青森県でのワークシ

ワークショップ開催ができたことは、委員会活動の大きな勇気になりました。関東地区でも新たな小学校でワークショップを開催することができました。昨年度は全国で述べ 250 名の JCD 会員が活動に参加し、約 900 名の小学生を対象にワークショップを実施いたしました。これまでの全国で 67 校、約 6,300 名の子どもたちを対象にワークショップを実施してまいりました。今年で 14 年目となる実績を踏まえ文科省へのアピールの道筋を模索しながら、全国での継続的な活動を目指したいと考えています。

Soda 委員会は正会員と賛助会員無の協働がなければ成立いたしません。いつの間にか窮屈になってしまった日本が寛容性を取り戻すために必要なのはボランティアの精神だと考えています。企業も社会貢献活動の姿勢を強めています。この思潮を背景に、多くの会員の皆様が参加していただける環境をつくることに努めたいと思います。

③ シンポジウム委員会（委員長：水谷晶人）

■SECTION62 の開催

SECTION62 の開催を致します。

60 回目の杉本貴志氏、61 回目の内田繁氏のお二人を考察するシンポジウムを開催してまいりました。今年度はそのお二人に続き、「倉又史郎氏の思考(仮称)」と題したシンポジウムを開催いたします。

商環境デザインの変遷を紐解く内容を目指したいと考えております。

時期については 8～9 月頃の開催を目指したいと思います。

同様に、シンポジウムの安定的開催を目指し、会場の固定化、協賛会社へのメリット強化、JCD の宣伝強化などを視野に入れながら、次回開催につなげたいと考えております。また、講演者についても、時代を反映するような方々をお招きし、より多くの方々にご参加をいただく事で JCD の認知向上および社会貢献に関与出来るシンポジウムを開催したいと考えています。

④ 広報委員会（委員長：飯島直樹）

1. タカハシツキイチ継続開催。

今までの登壇者を集めたデザイン潮流の発信。展覧会企画を検討中。

You Tube 配信以外のレビュー的な情報発信も試みたい。

2. JCD シンポジウム SECTION 62 の企画支援。

3. JCD ホームページの抜本的更新の着手。年度内更新を検討。

⑤ 国際委員会（委員長：武石正宣）

今年度の国際委員会の活動は、今年度に入ってからからのコロナウィルスの収束の目処が立たず、白紙のままではありますが、国際委員会の体制の見直しや、国際間のデザインコンペ

やアワードの活動を手助けして行く事を考えています。

⑥ 賛助委員長（委員長：森川 一）

今年度も引き続き正会員と賛助会員のコミュニケーションを深める施策を立案、推進いたします。

具体的活動としては

1. 「JCD Product of the year 2021」の実施。

正会員の WEB 投票が成果を上げたか検証し作業に関してはより効率的な方法をとっていきたいと思います。また、より多くの賛助企業が参加できる Product of the year を引き続き模索します。

2. 賛助企業同士の交流会の実施

引き続き全国賛助のみならず参加可能な近接する支部賛助間での交流を深め Product of the year の今後のあり方等話せる場を提供します。

またこのネットワークを利用し賛助会員の勧誘も視野に入れ交流できる企画を立案します。

（コロナウィルス対応がどうなるか不安要素ではありますが）

以上2点で賛助委員同士の交流、正会員との交流を深めお互いにWIN WINとなれる関係作りを進めて参ります。

⑦ 空間委員会（委員長：鹿目久美子）

1. JAPAN SHOP 2021 について

・JAPAN SHOP 2020 が思いもかけない中止となってしまったので JAPAN SHOP 2021 についてはまだ話し合われていないが、「JAPAN SHOP」開催 50 周年に当たるので以前から日経としても特別なイベントとして考えられていた。終息すれば活気を取り戻す為にも前向きに進められることになるであろう。

2. 年鑑刊行委員会について

・「年鑑日本の空間デザイン 2021」について「空間デザイン賞」DSA+JCD：「サインデザイン」の掲載バランスを ほぼ 2:1 の「日本空間デザイン賞；P192」「SDA 賞；P108」と六耀社から配分案が出され了承された。

・巻頭執筆者・デザイナー候補は、次回刊行委員会で報告する。

⑧ 交流委員会（委員長：折原美紀）

コロナウィルス問題の収束を迎えたら、第 6 回ゲストとしてお呼びする予定だった Web デザイン・ビジネスデザイン・コミュニティデザイン・空間デザインなど手がける株式会社ロフトワークの林千晶氏と吉田愛副委員長のトークセッションを実施したいと思

います。

また、場所移して少し大規模な会場にての開催や、年一回は誰でも参加できる会も実施できたらと計画しております。

これからも様々な業界で活躍する女性のゲストをお呼びして、我々自身の見識を広げ、JCD 活動への理解をいただけるように活動を進めていきます。

(2) 支部統括部 (部長：小坂 竜)

(支部長会議議長 (東日本)：長谷川 演)

ここ数年の結果がやっと繋がり成果となった。

北陸支部設立。

欠けていたひとコマが新たに生まれ、榮えて全国 10 支部が成立し、JCD の価値ある組織の血が、改めて日本の隅々へ行き交わすことが新しい時代へと繋がるであろう。

このチャンスを生かし、SODA、デザインイベント等で更なる未来を創っていききたい。

(支部長会議議長 (西日本)：加藤博正)

今年の支部長会議のテーマは、

理事会の補助機関である支部長会議の大事な役割は、理事会で論議されきれず、大事な案件や地方独自の問題を論議することである。

今行うべき事、考えるべく事を全国の支部より支部長を通じ意見を聞きまとめて理事会に報告、場合によっては提案することである。

令和 2 年度の支部長会議の今年のテーマは、各支部、(東日本、西日本) と調整して秋に行われる支部長会議で論議する。

① 北海道支部 (支部長：高橋 恵)

今年度の活動方針

「デザインの必要性とネットワークの大切さを JCD の活動を通して広めていこう」

- ・会員を増やす、他団体との交流を増やす活動を積極的に行っていく

活動内容

2020 年 4 月 16 日 (木) 北海道支部総会 ・収支報告、活動計画、予算案承認、懇親会等

2020 年 5 月 12 日 (火) 運営会議 ・定時総会の為の最終打合せ (ニセコにて)

2020 年 5 月 29 日 (金) 前夜祭

2020 年 5 月 30 日 (土) 定時総会

2020 年 7 月 08 日 (水) 運営会議 ・総会打ち上げ、北海道支部デザインアワード

計画

2020年11月11日(水) 運営会議 ・北海道支部デザインアワード計画、SODA
 2020年12月 SODA 桑園小学校
 2020年12月 Design Xmas Party
 2021年2月 北海道支部デザインアワード
 2021年3月 運営会議、鍋塾 ・来期の事業計画等, 収支状況の報告、支部総会
 計画 等

② 東北支部 (支部長: 大塚真司)

令和2年度は、他団体との交流をさらに深め、合同でのイベント・活動の実施を行っていきくとともに、支部事業への会員参加推進と若手デザイナーの発掘を目標に活動していきたいと思います。

【主な活動スケジュール】

4月 東北支部役員会
 ・令和2年度活動計画
 ・予算案
 ・Soda 実行委員選定
 ・令和3年全国総会実行委員会選定
 デザインキャンプ
 ・工場視察
 ・賛助会員に依る企業、商品PR

5月 令和3年全国総会実行委員会 北海道全国総会参加
 東北支部ゴルフコンペ (宮城開催)

6月 東北支部定時総会 (宮城地区開催) 6月中旬 山形地区
 ・地区長会議
 ・通常総会 (収支報告・活動計画・予算案等の承認)
 ・賛助会員に依る企業、商品PR
 ・講演会

8月 ビアパーティー開催

9月 Soda 活動準備委員に依る運営会議

10月 東北支部ゴルフコンペ

12月 日本空間デザイン賞 東北支部展示会開催 (JCD・DSA・SDA 共同開催)

2月 Soda ワークショップ説明会 (盛岡)
 Soda ワークショップ開催
 ・懇親会

③ 関東支部 (支部長: 小田秀樹)

***今期は各委員会活動の広報を充実させ、委員会活動を活発にして参加者を増やす。**

(新藤力副支部長、品川正之副支部長)

■研究セミナー：委員会：福田裕治委員長、石橋美幸副委員長、下村牧子副委員長

1) とくトーク 賛助委員会とのジョイントを含め、年間4～5回を開催予定

「6月・8月・10月・12月・3月」鍋塾の開催は時期・ゲストを調整して開催とする

■支部賛助委員会：品川正之委員長、奥弘史副委員長、原康喜副委員長、藤原巧副委員長、
本間克典副委員長

1) 原則月1回の委員会を開催し、下記掲載の活動目標の推進を図る。

2) 関東支部正会員及び賛助会員相互のコミュニケーションの活性化を図る。

正会員の委員会への参加要請、全国賛助委員会、Soda委員会への協力など。

3) 賛助会員のビジネスに寄与できるイベント等の企画をする。

とくトークとの共催などにより「ノレンカイ」を継続開催する。

4) 賛助会員の意見を集約し、協会に意見具申する。

5) 交流を促進するための親睦イベントを企画する。

恒例のBQ会、熱海花火大会、ゴルフ会。正会員VS賛助会員ボーリング大会など。

6) 関東支部の各委員会と連携して、支部のイベントをサポートする。

■広報委員会：古川紳太委員長、大滝道晴副委員長

1) 機関誌の発行は年3回、各20ページ立て4c印刷900部発行

2) 一回目(7月末発行)総会特集・とくトーク・プロダクトアワード・SODA委員会報告
・研修旅行報告・新人会員紹介など

3) 二回目 夏/秋号(11月中発行)・とくトーク・会員の近況・クラブ活動報告・新人
会員紹介・夏のパーティー報告・SODA委員会報告・賛助会員活動報告・新人会員紹介

4) 三回目 冬/春号(3月中発行)・とくトーク・会員の近況・新人会員紹介・冬のパーティー
報告・SODA委員会報告・新人会員・準会員紹介・賛助委員広告枠など

■メディア委員会：水谷晶人委員長、中村茂雄副委員長

1) 引き続きトップページの画像に変化を持たせるなどホームページの鮮度を保っていく。

2) 正会員・賛助会員のHP掲載数を増やす。

3) 迅速な「JCD関東支部 Face bookページ」へイベント等の立ち上げを積極的に行い活動の
認知度への向上を図る。

4) 「JCD関東支部 Face bookページ」を利用して正会員の近況情報及び賛助会員情報の告知を
積極的に行う。(賛助委員会と打ち合わせを継続)

5) 「JCD関東支部 Face bookページ」から「JCD関東支部ホームページ」への誘導を行い
ホームページの認知度を向上させる。

6) JCD本部の広報委員会との連動を行い、JCD関東の認知度の向上を図る。

■交流委員会：折原美紀委員長、雲野一鮮副委員長、村上敦副委員長

1) 前年度の「冬のパーティー」中止の内容をブラッシュアップし、今期の「夏のパーティー」

を盛大に開催したいと考えている。正会員・賛助会員に喜んでいただき、会員以外の方々も参加していただける交流会を目指し運営していきたいと考えている。

■特別委員会：星明臣委員長、木村倫香副委員長

- 1) 今期は昨年海外研修に於いて遂行時期、渡航国に於いてアクシデントが多く延期などが発生し、参加者に大変ご迷惑をおかけした為、国内研修も視野に入れて計画を検討していきたいと思います。

④北陸地区（地区長：木村嘉秀）

支部運営方針

「北陸支部再発足の記念すべき年。

北陸のデザイン界の中心に入れる様に、まずは足固めをしっかりとする」

1. 支部メンバー同士の交流や活動方針、内容の共有。

ほとんどのメンバーが北陸支部があった頃の事を知らない、もしくは JCD 自体を知らない方が多いので、まずはメンバー内で交流を深め、JCD の意義や活動方針を共有する。

2. 正会員および賛助会員の拡充

なんとか 20 名が集まりましたが、まだ石川県のメンバーが少なく、福井県に至ってはゼロの状態です。石川・富山・福井の 3 県で「北陸」ですので、できれば 3 県まんべんなくメンバーを増やしたい。

賛助会員も同じく 3 県よりまんべんなく募りたい。

3. 運営・活動を軌道に乗せる

本年度及び来年度にて北陸支部としての運営体制や組織を固める。

支部として充実した活動が出来るような基盤を作り、軌道に乗せる。

活動内容

2020 年

5 月 30 日 JCD 総会 （北陸支部正式に発足の承認）

6 月初旬 運営会議

6 月（ ） 北陸支部総会及び支部発足記念パーティー

※以降未定

- ・soda、セミナー、デザインインターンシップ、学生向けデザインコンペ、等企画したい
- まずは準備委員会の発足
- ・運営委員会（数回開催）
- ・懇親会

2021 年

2 月（ ） 第 22 回 JCD, SDA, DSA 3 団体合同 空間デザインフォーラム開催
（今回は石川開催）

⑤中部支部（支部長：鳥居佳則）

- 4 月 支部会議
北陸支部設立記念パーティー計画
- 5 月 支部会議
定時総会参加
支部総会準備
- 6 月 支部会議
支部総会開催準備
- 7 月 支部会議
 - ・中部支部 SODA 事業について
 - ・北陸支部設立記念パーティーについて
- 8 月 夏のビアパーティー開催予定
- 9 月 支部会議
 - ・中部支部 SODA 事業について
 - ・支部アワード開催について
 - ・北陸支部設立記念パーティー開催予定
- 10 月 支部会議
 - ・支部アワード募集開始
 - ・デザイントリプレックス 17 について
 - ・若手デザイナーによるシンポジウム開催予定
- 11 月 支部会議
 - ・支部アワード贈賞式準備
 - ・忘年会について
- 12 月 忘年会開催予定
- 1 月 支部会議
 - ・デザイントリプレックス 17 について
 - ・支部アワード贈賞式兼新年会開催予定
- 2 月 支部会議
 - ・デザイントリプレックス 17 開催
 - ・北陸支部デザインフォーラム参加予定
- 3 月 理事会参加予定

⑥関西支部（支部長：中村祐輔）

- ・各イベント内容の更なる深堀ト」次世代への展開
- ・大阪デザイン団体連合・大阪デザインセンターとの連携による
新機軸の新たなデザイン発信

USD-0 大阪デザイン団体連合との取り組み

- USD-0 大阪デザイン団体連合を中心とした大阪万博への取り組み
PLL 促進会議への参加
- 2020 年秋、大阪デザインセンター開催の「デザインカンファレンス」開催に向けての企画提案
- 2021 年開催の 40 周年事業の協議

6 月 支部集会 (賛助会員 PR 会・懇親会)

7 月 SODA 事業 住まい情報センター タイアップ事業+「こどもたちと創る商店街」

9 月 秋のワインパーティ開催 (賛助会員 PR 会・懇親会)

11 月 関西学生シンポジウムの開催

11 月 大阪市商店会総連盟主催

大阪市あきないグランプリ表彰式 ※JCD 賞の表彰

12 月 11 日 クリスマスイベント

2 月 4 団体合同「空間デザイン展」開催

4 月 新規イベント検討中

(仮称)「インハウスデザイナーもええで！」

住まい情報センタータイアップ事業 出前講座 ※開催日未定

その他 修成建設専門学校 育課程編成委員会 (卒計審査) への参加

⑦中国支部 (支部長：深田勝哉)

中国支部の活動方針は「デザインの追求と若手会員の増強・支部内の活性化」をテーマに、支部創りを目指します。

前支部長が昨年度まで築いてきた支部の方向性を引き継ぎ活動してまいります。支部例会では正会員の情報発信を強化し、賛助会員の協力の元、デザインを追求する環境を作り、会の活性化を図ります。

そして、地域へデザインを発信する場を創り、交流を図り、次代を引き継ぐ若手デザイナーの発掘・育成につながる活動をし、会員増強へ繋げていきます。

2 年度事業内容

- 組織改革・・・若手会員の増強、賛助会員との連携強化
- 例会活動・・・本部、支部からの連絡事項、支部内の審議事項、活動計画立案。
親睦活動などに加え、デザイナーによる情報発信でデザインの追求
各地域 (岡山・福山・広島) での懇親会、賛助会員によるミニセミナー。
秋：国内外を問わず、デザイン研修旅行の計画。
冬：他支部、他団体との交流会「鍋塾」の計画。

4 月 2 年度支部総会 前年度事業報告・新年度事業計画発表・新組織発表 (岡山)

- 5月 2年度定時総会（北海道支部）への参加（ニセコ）
- 6月 第2回JCD中国支部例会&ミニセミナー（福山）
- 8月 第3回JCD中国支部例会&ビアパーティー（広島）
- 10月 第4回JCD中国支部例会&ミニセミナー（岡山）
海外デザイン研修（未定）
- 11月 広島デザインデイズ 2020 開催（広島）
- 12月 第5回中国支部例会 & 大忘年会（福山）
- 2月 第6回中国支部例会 & デザイン交流会・鍋塾（未定）

●地域活動

支部事業である、「広島デザインデイズ」を地元との交流、そして広島・岡山を中心とするデザイン団体、建築・デザイン系の大学・専門学校、地元商店連合会など参加者を増やし地元根付いたデザインを中心とした交流の場活にしたいと考えます。

- 7月 広島デザインデイズ 2019 第一回準備委員会 (広島)
- 8月 広島デザインデイズ 2019 第二回準備委員会 (広島)
- 9月 広島デザインデイズ 2019 第三回準備委員会 (広島)
- 10月 広島デザインデイズ 2019 第四回準備委員会 (広島)
- 11月 広島デザインデイズ 2019 開催 (広島)

⑧四国支部（支部長：長尾勝彦）

- 1、女性会員が集まりやすい明るく楽しい会を目指し支部の魅力を上げる。
- 2、HP, SNS を活用して支部の活動を発信して会員増強へつなげる
- 3、賛助企業とのコラボ企画を軸に支部賛助会員現在9社から2ケタまで増強を目指す。
- 4、四国支部のアワードをいつかは開催できるよう目指す。
- 5、現在正会員15名、支部会員12名、定款正会員20名を超えるよう理解を求める。

事業予定

- 5月、ニセコ定時総会
- 6月、第1回支部例会（新支部長挨拶）
- 7月、遠藤照明ショールームバスツアー企画
- 8月、ビヤガーデンパーティー開催予定
- 9月、ランチ会議
- 10月、秋の例会
- 11月、アートファクトリー公開アトリエ
- 12月、合同忘年会開催予定
- 1月、賀詞交歓会
- 2月、ランチ会議
- 3月、第6回 SHIKOKU デザインフェュージョン開催予定

4月、お花見会

⑨九州支部（支部長：原田啓二）

九州支部は、NPO 法人「FUKUOKA デザインリーグ」への参加を続けながら、社会貢献と勉強会などへの参加を行っていき、知名度拡大と会員増強に力を入れていきます。又、前年度の開催を見送った空間デザイン賞パネル展の再開や、SODA 事業と少し趣を変えた支部ならではのデザインスクールキャラバンの早期開催を目指し、魅力ある九州支部づくりを行なっていきます。支部例会も、正会員と賛助会員の大きなコミュのケーションを図る場として、大変有効に活用されていますので、今後も毎月の開催を基本に行ってまいります。

以下予定活動

- | | |
|-----------|--------------------------|
| (1) 4月～毎月 | 月例会開催（セミナー・勉強会・懇親会） |
| (2) 5月 | FUKUOKA デザインリーグ理事会及び総会参加 |
| (3) 6月 | 支部レクリエーション開催 |
| (4) 7月 | ビアパーティ開催 |
| (6) 10月 | 出前授業ワークショップの開催 |
| (7) 11月 | 空間デザイン賞パネル展の開催 |
| (8) 12月 | 九州支部忘年会開催 |
| (9) 1月 | 九州支部新年会開催 |

⑩沖縄支部（支部長：山里健市）

■R2年度の活動について

1. 2年度も引続き イベントの完成度を高める事で JCD の認知度 UP を目指します。
2. 支部賛助会員との交流を深めていきます。
3. JCD OKINAWA 空間デザイン賞を今年も開催できるよう打合せを進めていきます。
4. SODA がまだ確定しておりませんので、引き続き 学校へお願いして参ります。

■主な活動計画

- | | |
|-----------|---|
| 1) 4～6月 | ・支部定例会の開催（4月・6月）
・異業種交流会参加（インテリア産業協会・IC協会 他）
・賛助委員会主催の懇親会・セミナーなどの計画～開催。
・空間デザイン賞開催について 実行委員にて意見交換。 |
| 2) 7～9月 | ・支部定例会の開催（8月）
・JCD CREATERS BEACH BBQ 2020 開催
・SODA（ワークショップ）の計画 |
| 3) 10～12月 | ・支部定例会の開催（10月・12月）
・JCD OKINAWA 空間デザイン賞の開催。 |

- ・ トータルリビングショーへの共同参加
(前年同様、イベント来場者の子供達と お店のミニチュア模型作り)
 - ・ JCD 沖縄 忘年会「モノズクリガンバッタ 2020」開催
(建築・インテリア・グラフィック。各デザインに関する個人・他
団体と1年を振り返って。)
- 4) 1～3月
- ・ 支部定例会の開催 (2月)
 - ・ SODA (ワークショップ) の開催。

(3) 総務部 (部長：太細 通)

① 財務委員会 (委員長：太細 通)

令和2年度予算は、事業活動収入5,512万円、事業活動支出5,058円で、454万円の大幅な黒字収支計画となります。

内訳としては、本部が412万円の黒字、9支部1地区合計で42万円の黒字の収支予算です。

但し本部の収益には職員の退職給付引当金を含んでいますので、その分を見込む必要があります。

事業活動収入において、会費収入は会員数が増加したため昨年度予算より176万円増。事業収入は昨年度予算に比べ260万円の増予算としています。主な内訳は、設計奨励事業180万円増、展示会収入66万円増です。収入減の特に目立った項目はありません。事業活動支出においては、昨年度予算より合計513万円増となります。昨年度予算に比べ増額が大きいところでは、設計奨励費のDSAと統合した2回目となる日本空間デザイン賞のJCD費用負担分が170万円増、広報費のホームページのデザイン一新予定があり104万円増、国際交流費はEast Gatheringの開催をJCDが担当することで50万円増等です。逆に主な減額は、会議費を実績にあわせ60万円減、研修会費が25万円減です。結果収支差額は454万円の黒字で昨年度予算より69万円の減になります。

尚、事業収入、事業支出とも昨年度予算より大幅な増額になりましたが、これは今年度が2回目の日本空間デザイン賞が昨年度の初回はDSAとのデザイン賞統合のため全くの見込みでの収支予算でしたがこれを初回の実績に合わせたことによるものです。

また最近横ばいでありました年会費収入も、正会員は支部毎のばらつきはありますが今年度は北陸エリアの新規入会により61万円増、賛助会員は全国賛助会員が70万増、支部賛助会員が45万円と昨年度予算より176万円、約6%強増の予算になりました。会費が事業活動の主たる源泉ですので、今後も更なる会員増強を図り収入を増やさないかぎりこれから大きな事業は望めません。昨年度同様会員増のためには留保金の活用方法な

どを考えていく必要があるかと思います。皆さんで知恵を絞り会員増強を図っていきましょう。

② 功労者選考委員会（委員長：星 明臣）

当委員会の主務は、当協会／特別功労賞表彰規定などに則り、「JCD 功労賞・支部功労賞」「評議員」「顧問・参与」の候補者を会員から募り、推薦された各候補者の貢献度などの与件を審議し、該当する候補者を、理事会に推挙します。一方、JCD への社会的認知度や、地位向上策の一環として、継続的に「国交省大臣表彰」の候補者を選考し、理事会へ推挙しております。

肝要なことは、誤謬なき・適正な推挙を心がけることです。

尚、当委員会は、小坂副理事長、太細専務理事、小田理事、奥平評議員、寒川評議員、山田評議員、星の7名で構成されています。